

情報技術科のホームページ作成

木下 和也

1. 研究概要

ホームページ作成する技能を学んで実際に作成し、進学先で悩んでいる中学生を対象とし、「岡工の情報技術科ではこんなことができる」ということを伝えられるようなホームページを完成させる。

2. 研究の具体的内容

はじめに、HTML がどのようなものか説明をする。

HTML (エイチティーエムエル, HyperText Markup Language) は、ウェブページを作成するために開発された言語である。現在、インターネット上で公開されているウェブページのほとんどは、HTML で作成されており、最新バージョンは HTML5 である。

このため、ホームページを作る際にはほぼ不可欠な存在となっており、今回の課題研究ではこれらを学びながら作成していくという流れとなった。

課題研究開始当時、使用ソフトはフリーソフトである ez-html を予定していたが、先生の勧めにより、Microsoft expression Web 4 を試用した。

実際のレイアウトと HTML のコードを同時に表示する点、元来有償ソフトであったがフリーソフト化したことにより、家でもインストールし使うことが可能な点などにおいて使い勝手がよかったため、使用ソフトをそちらに変更した。

以下に示す図は HTML5 を使ったコードと、実際に Web 上で表示されるグラフィックを比較した画像である。

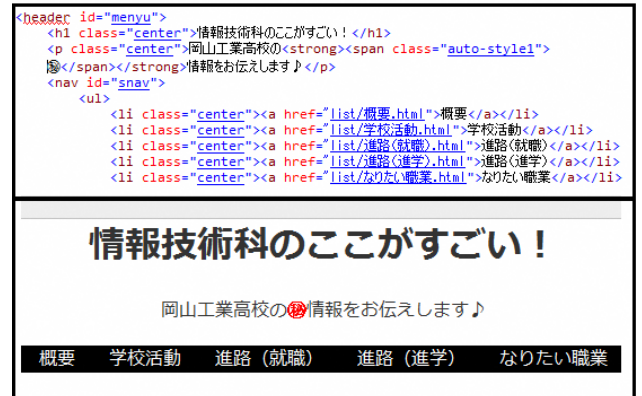


図 1 コードとデザインビューの比較

元々はグラフィックや演出に富んだサイトを作っていたが、ターゲットとしている中学生のユーザ側のことを考慮すると、パソコンよりもスマホを使って閲覧するケースが多いと思われる。そしてスマホを使って閲覧する場合、通信制限などが要因となって、サイトの閲覧時に読み込みが重量化する可能性が大いにあり、要素を加えすぎるとサイトにかかるデータ量が増加し、読み込みを完了できる時間も遅くなり、見辛さに拍車がかかってしまうのである。

この課題研究ではあくまで「岡工の情報技術科ではこんなことができる」ということを伝えられるようなホームページを完成させる。」ということに重点を置いているため、無駄な要素はオミットし、さっぱりと見やすいページに仕上げるように方針を変更した。

作業の進め方としては、デザインビュー(実際のレイアウト)とコードを同時に表示し、加えたい要素を加えていく形である。デザインビューから要素を編集することも可能である。

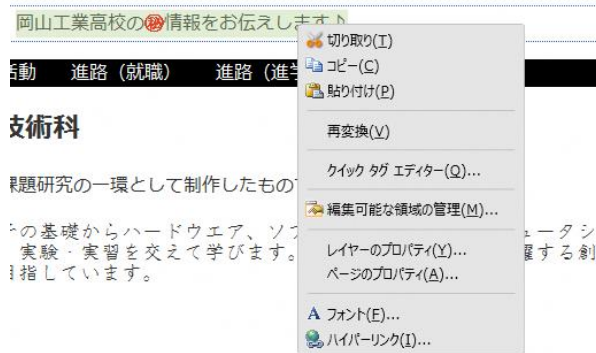


図2 デザインビューからの編集

項目をそれぞれ「概要」「学校活動」「進路（就職）」「進路（進学）」「なりたい職業」の5つに分け、ユーザのニーズに合いそうな内容を書いた。なお、各ページの写真についても1枚もしくは2枚とし、各ページにかかるデータ量をなるべく節約することとした。

(1) 「概要」

情報技術科のことを説明。岡山工業高校のホームページに書いてあることとさほど変わらないが、前置きとして必要だと思ったので設けたものである。

(2) 「学校活動」

情報技術科がやってきた固有の活動や、体育祭、文化祭で行ってきた活動などをまとめたページである。

(3) 「進路（就職）」

先輩方が就いた就職先の情報を少しばかりまとめたものである。

(4) 「進路（進学）」

同様に、先輩方が行った大学、専門学校などの情報をまとめている。

(5) 「なりたい職業」

いわゆる診断チャートができるページである。診断チャート用の画像を貼り付けるのみとした。

なお、画像はCLIP STUDIO PAINTを使って作成した。本来CLIP STUDIO PAINTはイラストを描くときに使うことの多いグラフィックソフトで、画像を作るソフトではGIMPなどがあるが、CLIP STUDIO PAINTでは画像のレイヤー管理が容易であること、体験版を入手済みだったことから採用した。実際、GIMP等より使い勝手は良いと思われる。

3. 研究のまとめ

ホームページを作るために色々勉強し、たくさん知識が得られたことを実感している。将来的にも役に立つと思うので、課題研究のテーマをホームページ作成にしてよかったと感じることができた。

もしまたホームページを作成することがあれば、今度はグラフィックやデザインに注力しきったページを作りたいと思う。

参考文献

・HTMLとは？-HTMLクイックリファレンス
<http://www.htmq.com/htmlkihon/001.shtml>